

令和6年12月25日

白岡市議会議長 大 島 勉 様

文教厚生常任委員長 斎 藤 信 治

文教厚生常任委員会調査報告書

本委員会に付託の調査事件について、白岡市議会会議規則第105条の規定により別紙のとおり報告いたします。

調査事件名

○小中学校の適正規模・再配置計画について

# 文教厚生常任委員会調査報告書

1 調査事件名 小中学校の適正規模・再配置計画について

## 2 調査の経過

(1) 調査年月日 令和6年11月6日（水）

(2) 調査場所 埼玉県鶴ヶ島市

(3) 出席者 委員長 斎藤 信治 副委員長 嶋田 友一郎  
委員 細井 藤夫 委員 野々口 眞由美  
委員 菱沼 あゆ美 委員 大島 勉  
教育委員会教育部教育総務課長 高垣 秀樹（敬称略）  
議会事務局長 長倉 健太郎 外1名

### (4) 調査の概要

#### ア 鶴ヶ島市の小・中学校再編の現状と再編の契機

鶴ヶ島市は、埼玉県のほぼ中央に位置し、都心から45キロメートル、面積17.65平方キロメートル、人口7万人の市である。ベッドタウンとしての人口増があったために、鶴ヶ島中学校を分離する形で西中学校を開校し、小中学校を配置してきたものの、学校施設の老朽化が進んでいることや今後の児童・生徒数の減少が避けられないことから、これらと併せて、鶴ヶ島市公共施設等利用計画（平成26年度策定）において、教育委員会が小・中学校の再編・再配置実施計画を定めることとなった。

再編の方向性については、単に老朽化など施設の新旧だけで統廃合先を決定するのではなく、各学校設立の背景や地域の文化的成り立ちやまちの構造等を考慮することで、多くの市民から理解が得られるよう努力した。

また、学校再編・再配置計画の策定に当たり、地元の状況をよく知る職員が地元の声を聞きながら進めることが良いと結論づけ、元校長経験者を会計年度任用職員として加えるなどし、4名程度の職員で平成28年度から学校再編に関する基本方針の策定を始め、種々の検討を重ねながら計画を策定した。

策定した小・中学校の再編・再配置計画は、計画期間を令和2（2020年）年度から令和32（2050）年度までの30年間とし、この間に現在設置している小学校8校及び中学校5校を、小学校3校及び中学校2校、小中一貫校1校に、それぞれ再編することを目指している。

この再編・再配置計画において、中学校5校のうち2校を1校に再編し

た際に、別の市有地に新設校として開校を計画している。

#### イ 小・中学校の再編・再配置計画策定の経過

##### (ア) 平成28年度（平成28年6月）

「鶴ヶ島市の学校教育に関するアンケート調査」の実施

児童・生徒の保護者及び教員の意見を把握し、学校規模により生じる課題を解消し、より良い学校教育環境を目指した。

##### (イ) 平成28年度（平成29年1月）

「鶴ヶ島市学校再編に関する基本方針」の策定

中学校の小規模化の進行が速いことなどを踏まえ、小学校より中学校を先行して再編に取り組むことが妥当であることの方角性を示した。

##### (ロ) 平成29年度～平成30年度

「中学校の再編について」の調査研究

学校再編の基本的な考え方、再編の骨子、再編時期、再編のスケジュール、再編により生じる課題などを検討・研究した。

##### (ハ) 令和元年度

「鶴ヶ島市公共施設個別利用実施計画」策定

学校だけではなく、市民センターや庁舎などの市公共施設を含めた公共施設個別利用実施計画を策定した。その計画の中に、学校施設の在り方についての実施計画も策定した。

また、教育委員会では、学校再編検討委員会を設置し、小・中学校の再編・再配置について調査研究を行った。

さらに、総合教育会議や教育委員会会議での検討を続けてきた。

##### (ニ) 令和2年度

「鶴ヶ島市小・中学校の再編、再配置計画（案）」の作成

##### (ホ) 令和3年度（令和4年2月）

「鶴ヶ島市小・中学校の再編・再配置計画」の策定

学校関係者に対し、本計画（案）を説明し、意見収集を行い、本計画を策定した。

教育委員会は、本計画に基づき、学校規模の適正化と学校施設の整備による教育環境・教育機能の維持向上を図り、魅力ある学校づくりを進めている。

また、計画期間が30年間と長期にわたるため、社会情勢や人口

推移などの変化を踏まえ、5年間ごとに計画を評価、調整、管理等を行い、必要に応じて見直しを図ることとしている。

ウ 小・中学校再編・再配置計画の概略

(ア) 学校再編の骨子・時期

児童・生徒数の推移、通学区域、小中一貫教育の取組状況、学校の立地状況などを踏まえ、地区割を設定した。また、中学校の小規模化の進行が速いことから、中学校再編に取り組んだのちに、小学校再編に着手することとした。

(イ) 中学校再編計画

地区	再編対象校	使用校	再編目標時期	廃止校
西部	鶴ヶ島中学校 西中学校	鶴ヶ島中学校 ((仮)西部中学校)	令和9年 4月以降	西中学校
東部	藤中学校 富士見中学校	藤中学校 ((仮)東部中学校)	令和19年 4月以降	富士見中学校
南部	南中学校 南小学校	南小学校 ((仮)南小中一貫 教育校)	令和14年 4月以降	南中学校 (体育館、テニ スコートは学校 教育施設として 継続利用)

(ロ) 小学校再編計画

地区	再編対象校	使用校	再編目標時期	廃止校
西部	鶴ヶ島第一小学校 長久保小学校	鶴ヶ島第一 小学校 ((仮)第一小学 校)	令和31年 4月以降	長久保小学校
	新町小学校			
東部	鶴ヶ島第二小学校 藤小学校	藤小学校 ((仮)第二小学 校)	令和23年 4月以降	鶴ヶ島第二小 学校
	杉下小学校 栄小学校	栄小学校 ((仮)第三小学 校)	令和27年 4月以降	杉下小学校
南部	南小学校 南中学校	南小学校 ((仮)南小中一 貫教育校)	令和14年 4月以降	南中学校 (体育館、テ ニスコートは 学校教育施設 として継続利 用)

(イ) 計画検討段階での課題等への主な対応

a 計画策定の外部委託

計画策定の外部委託は行わず、職員が作成した。  
学校だけではなく庁舎等も含めた公共施設全体で検討した。

b 再編・再配置に関する市民への説明、市民の意見の反映

学校運営協議会、PTA連合会、学校P本部役員会での説明後、保護者説明会を7日間4会場で計10回実施した。市民からの意見は、アンケート調査結果を適正規模等の決定の参考とした。

c 30年間の長期計画について

社会情勢や人口推移等の変化を踏まえ、5年間ごとに計画を評価、調整、管理等を行い、必要に応じてタイミングを逃さないよう慎重に見直しを図ることになっている。

d 子どもたちの心理面への対応について

校外学習、部活動合同練習等の事前交流の取組を検討している。  
配属されている教員のバランスの良い配置に務めていく。  
特別支援学級児童の指定校変更希望は許可する方向で検討中。

e スクールバスの運行

市域が狭く中学生であることを考慮して、自転車通学で対応予定。

f 小中一貫校の複数校化の検討

学校規模や学校間の距離を検討し、小中一貫校は1校とした。

g 新設中学校の制服

市内繊維業者が複数のデザイン案を作成し、展示会を行い、子ども達が決定した。スカートやパンツなどのスタイルは選択できる。

### 3 意見

鶴ヶ島市の学校再編・再配置においては、児童・生徒数の推移を早期に予測し、現段階で30年後の予測を立てて統廃合を示しており、早い対応をしている。とても良い先進事例であった。その取組の中で、保護者等へのアンケート調査や説明会を行い、長期的な住民理解を得るために、時間をかける姿勢が十分に伺えた。早期に取り掛かったことで、保護者や市民に十分説明する時間が生まれ、計画に納得してもらうことにつながっており、素晴らしい。

また、再編によって「新しい学校」をつくるという方針は、児童・生徒の格差をなくす意味で大変重要で良いと共感した。特に、「児童生徒のために」という目的を常に最優先して進めている姿勢が素晴らしく、何よりもどんなこと

でも、子どもたちの意見を聞いていることに、驚きと敬意を感じた。

一方、当市がこれから再編計画に取り組むに当たり、鶴ヶ島市の先進事例を参考にできるメリットもある。計画策定までの進め方において、学校現場を知るアドバイザー的立場として、教職員OBの教育委員会への配置は、必須ではないか。まずは、当市も体制を整えた上で、慎重に進めていただきたい。加えて、教育委員会が決定するのではなく、子ども達や地域の住民、校長などが主体となって話し合いの場を持ち、決めていくスタイルが望ましいのではないか。子ども達のより良い教育環境の実現、社会に開かれた教育課程の実現等を目指して、丁寧に進められることを期待する。

学校再編や統廃合は、暗いイメージであるが、鶴ヶ島市からは、それが感じられなかった。何よりも、子ども達の意見をあらゆる場面で聞き、新しい学校への期待感を抱かせるよう考えていること。そして、その子ども達の姿を見て保護者や地域住民が安心できるようになること。そのような努力を惜しまないことも鶴ヶ島市の文化や地域を守る気持ち、人を思う気持ちの現れのように感じる。そして、このようなところに時間をかけるからこそ、反対のないスムーズな流れになって計画が実現しているのだと感じる。

今回の視察をとおして、当市が鶴ヶ島市を見習うべき点は多いと感じた。当市では、少子化により、すでに次に考えなければいけない学校が存在することから、学校再編計画の策定を含めて、今後の学校問題については、これまでの課題等を踏まえて、拙速な行動をせず、しっかり時間をかけて、丁寧に進めていただきたい。現在から未来への子ども達のために、よりよい計画が策定されることに期待し、議会としても応援をしていきたい。